

新型コロナウイルス感染症対策

青森県卓球連盟

1 会場では・・・

- (1) 各チームの帯同者の代表の方は、入場時、監督・コーチ・帯同者・選手の『健康状態申告書』を取りまとめて提出すること。『健康状態申告書』を提出できない場合は、入場できない。
- (2) 開場時、手指消毒および検温（非接触式体温計を使用）に応じない場合は入場できない。
また、マスクを着用していない者は入場できない。
*手指消毒薬にアレルギー反応を有する場合は、申し出ること。
- (3) 3密を避けるため、ソーシャルディスタンスを十分に確保すること。
- (4) 競技以外は、マスクを着用すること。
- (5) こまめに手洗い、うがいをし、手洗い後は、持参したマイタオルを使用すること。また、手指消毒薬も併せて使用すること。
- (6) 大きな声で会話しない。また、応援は拍手のみとする。

2 試合中は・・・

- (1) 朝の全体練習は行わない。試合前に1分間の練習を行う。
- (2) 試合中のマスクの着脱については本人に一任する。ただし、試合前後には必ず着用すること。
- (3) サービス、レシーブ、エンドの選択（じゃんけん）は、主審側で行う。
[副審前（カウンター側）では行わない。]使用するラケットやラバーについては、相手に見せるだけで、交換はしない。
- (4) 審判は敗者審判とする。
- (5) 競技中および競技前後の握手やハイタッチ等、他者との接触を避ける。
- (6) タオルの共用はしない。
- (7) 飲料は自分専用のもを飲み、回し飲みはしない。
- (8) 卓球台の上で手を拭いたり、手でシューズの裏を拭いたりしない。
- (9) 試合終了後は、選手が卓球台を除菌する。
- (10) コートには待機席を設けないため、選手はタイムテーブルを確認し、前の試合が終わり次第コートに入ることとする。

3 その他

- (1) 会場への出入は南側出入口（メインアリーナ側）のみを利用し、他のエリアからは出入りしないようにする。
- (2) アドバイザーのベンチ入りを認める。
(アドバイザーとは、監督・コーチ・帯同者であること。)
- (3) 選手以外で会場に入場できるものは、次のとおりとする。
1チームに監督1名、コーチ1名、選手と同数以内の帯同者とする。
- (4) 定期的に会場内の換気を行う。
- (5) 試合終了後のミーティングは、屋外で行うなど、3密を避けること。
- (6) 大会終了後10日間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- (7) 市や県の対策本部の方針により、会場の使用が不可となった場合は、中止する。
- (8) 表彰式は行わず、用意ができれば随時表彰を行う。
- (9) 履き物は、各自が用意した袋に入れ、玄関には置かないこととする。

チーム代表者の方は、熟読して、選手にご周知・ご指導ください。